長野県軽井沢町議会

議会だより



No.105



風越フィギュアスケートクラブ

未来のオリンピック選手を目指して

軽井沢 KARUIZAWA

平成26年11・12月、平成27年1月会議

会議の要点 2-3p

請願・陳情・寄附 5p

一般質問（全項目掲載） 6-12p

中学生との意見交換 18p

決めました

344日間の通年議会が閉会!!

◆11月定例会議（11月5日開催）

1日限りの会期で開催されました。議案2件を原案どおり可決しました。

議案

◎除雪機の購入　912万円

・2月の豪雪時の除雪の反省から、アダプトプログラムで各区に貸与する除雪機、10区に19台の購入です。



さっそく活躍

◆12月定例会議（12月4日から19日までの16日間で開催）

1日目に、議案24件、報告4件の上程と提案説明がありました。

5～6日目に、一般質問を行い7議員が公共交通計画などを取り上げ、町政をただしました。

7日目に、24議案の質疑を行い、各常任委員会に付託しました。

最終日に、付託した24議案と追加された条例改正1件を原案どおり可決し、報告5件、請願1件を採択して意見書を国に提出しました。

議案（主なもの）

条例の制定

◎指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

・国の第3次一括法の改正による条例の制定です。

そこが聞きたい

袖山卓也　住民サービスの趣旨に沿って検討していく組織を考えているか。

保健福祉課長　地方の実情に合わせた整備であり、基準は2年だが当町では5年と定めた。

◎地域包括支援センターの運営及び職員の基準を定める条例

・国の介護保険法の一部改正による条例の制定です。

そこが聞きたい

川島さゆり　現在第1号被保険者の数はどのくらいか。また、保健師・介護支援専門職員・社会福祉士の人数は増やせるか。

保健福祉課長　第1号被保険者数は、11月末で5694人であり、職員は、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門委員の3名である。保険者数が1000人増えるごとに、職員を1名増やせる。

◎観光振興センター条例

・旧NTTビルを借り上げ『軽井沢町観光振興センター』を公の施設として設置することの条例の制定です。

そこが聞きたい

荻原宗夫　観光協会の事務局員は現在の人員で足りるか。

観光経済課長　27年度は町直営施設として運営をしていくので、町職員が管理していく。その後、指定管理制度を導入するので観光協会が全て運営する必要はない。

佐藤敏明　12月28日から1月4日までの期間も開けたほうが良いのでは。また、最初から指定管理に任せては。

会議の要点 こんなことを

観光経済課長　社会通念的な考えから閉館としたい。また、第3期の指定管理が平成28年度から始まるのに合わせたい。

袖山卓也　**事務室へ入る団体は。また、事務室の使用料は。**

観光経済課長　2階の事務室は観光関係団体のために3部屋用意している。また、条例が制定され次第、料金が決まる。

荻原宗夫　**有料施設を許可目的以外に使用できないとあるが、この「目的」というのは何か。**

観光経済課長　施設の目的は観光振興を図るということである。

荻原宗夫　**案内ホールにて軽井沢のお土産等の販売はできるか。**

観光経済課長　現時点では物販という目的での使用を考えていないが、28年度以降は指定管理運営が始まるので、意向も踏まえた中で検討する。

条例の一部改正

◎職員定数条例

・保育所・児童館及び病院職員の定数を増やす改正です。

そこが聞きたい

土屋正治　**職員の定数、人件費削減等々のことで事業の外部委託の基本的な考え方は。**

総務課長　指定管理等を順次検討して定数の削減を図っている。ただ、軽井沢病院については経営の規模や診療の内容などの看護基準等にのっとった定数の管理を今後していく。

◎都市公園条例

・風越公園グラウンドの人工芝生化改修工事による使用期間・使用料の改正他です。

そこが聞きたい

荻原宗夫　**使用料について、使用する団体等と話をしたか。**

建設課長　グラウンドの人工芝化に伴う料金改定なので、サッカー、野球関係者には話した。

川島さゆり　**町内外の小中学校のチームが参加する大会で、総合体育館の使用料を更に減免にならないか。**

建設課長　参加費を徴収した中で使用料を払って大会を開くのが本来の大会の趣旨だと思うので、減免規定の範囲内で多くの方に利用してもらいたい。

◎都市施設さわやかハットに関する条例

・さわやかホールの無料開放に伴う見直しと、開館時間の変更です。

◎社会資本整備総合交付金事業新幹線跨線橋耐震補強工事委託に関する変更協定

・足場材のFRPへの変更・電柱移設の見直し等により工期が短縮され債務負担行為が廃止となり、工事費1260万円の減額ができました。



総合グラウンドの人工芝化に向けて

補正予算（主なもの）

◎一般会計補正予算（第8号）

2億2553万円を追加し、総額149億2914万円

・さわやか軽井沢ふるさと基金・元金分増　2930万円

・地域介護・福祉空間施設整備補助増（養護老人ホーム静山荘への補助）　2256万円

・中軽井沢南児童館改修工事220万円

・住宅リフォーム補助増　5000万円

・八田別荘用地購入　1億8000万円

八田別荘購入へ 1億8000万円

補正予算を審査しました

予算 常任委員会

委員会での主な審査内容（質疑）

荻原宗夫　個人町民税の収入が2億3000万円、固定資産税が2600万円増額だが要因は。

税務課長　町民税については、株式譲渡があった方が予想以上に多かった。固定資産税は収入状況を精査した結果それだけ見込める事となった。

袖山卓也　土木費国庫補助金が7200万円減額だがどのような理由か。

建設課長　社会資本整備総合交付金の借宿バイパスの要望額が50％であった。再度、県・国へ増額の要望をしている。

袖山卓也　ルイザちゃんのキャラクター商標登録をしたが、ルイザちゃんをモチーフにした商品開発をする事は可能か。

企画課長　届け出をしていただければ可能だ。今回商標登録をされてしまわないように町で登録した。

川島さゆり　27年度、中軽井沢南児童館が子育て支援センターになるが、現在の中保育園のセンター内には授乳室がないが対応は。また体重計、身長計などの備品は。

住民課長　現在の中保育園の施設では1つのフロアーしかなく難しかった。今後は部屋を確保できるので可能だと考える。備品については要望に応じて対応したい。

篠原公子　中軽井沢南児童館改修工事の内容は。

住民課長　主にトイレの改修工事で幼児用便器の設置。他に会議室に暖房器の設置及び看板の取り替えである。



中軽南児童館から子育て支援センターへ

土屋好生　八田別荘を1億8000万円で購入するが今後の活用方法についての検討は。

町長　町における日本人第1号の別荘であるので価値あるものと考える。来館者を迎え入れる施設とするとまずは耐震調査が必要である。いい場所にあるので何回も訪れて頂ける施設として活用したい。

佐藤敏明　鳥獣対策費、330万円増額だが内容は。

観光経済課長　駆除報償金で鹿を150頭増見込んでいる。運搬費と処理委託で190頭見込んでいる。



森の中にたたずむ八田別荘

請願 1件 採択

総務常任委員会

◎2015年核不拡散条約（NPT）再検討会議において、日本政府が核兵器全面禁止のための決断と行動をすることを求める意見書の提出に関する請願

《委員会審査結果》

採択（全員）

本会議場での審議結果

採択（全員）

◎集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し閣議決定に基づく立法措置を行わないよう安倍首相および衆参両院議長に意見書の提出を求める請願

委員会審査結果

継続審査（全員）

9月開催の委員会で、今後も協議が必要とのことから継続審査となり、12月にも審査を行ったが、12月19日で定例会が閉会となり、※審議未了となった。

※会議に付された事件が会期中に議決に至らず、継続審査にもならないで廃案となること。

陳情 4件 不採択

社会常任委員会

◎農業・農協改革に関する意見書の提出を求める陳情

《委員会審査結果》

不採択（不採択5名、採択2名）

本会議場での審議結果

不採択（反対する議員 13名 賛成する議員 2名）

【委員会での不採択の主な理由】

当該陳情は、前回（平成26年10月）開催の委員会で、自己改革案の内容に関する資料が提出されていないため継続審査となっていたが、今回提出された自己改革案の資料でもなお、身を切るような自己改革の道筋が何も示されていないので不採択が相当である。

◎安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書

《委員会審査結果》

不採択（不採択6名、採択1名）

本会議場での審議結果

不採択（反対する議員 14名 賛成する議員 1名）

【委員会での不採択の主な理由】

当該陳情は、ほぼ同一の内容の陳情を平成24年12月に採択して内閣総理大臣はじめ所管の大臣に意見書を送付している。また、国が今年6月に医療介護総合推進法制定して、医師や看護師の確保に動き出していることなどを考慮すると不採択が相当である。

◎介護従事者の処遇改善を求める陳情書

《委員会審査結果》

不採択（不採択5名、採択2名）

本会議場での審議結果

不採択（反対する議員 14名 賛成する議員 1名）

【委員会での不採択の主な理由】

陳情項目は、既に厚生労働省の社会保障審議会（給付費分科会）で改善が検討されている。また、報酬のアップ分を全て国費で賄えとする要望は、現行の社会保障制度そのものの否定にも繋がるため不採択が相当である。

◎発地メガソーラー計画地の環境調査及び町議会での審議を求める陳情

《委員会審査結果》

不採択（不採択6名、継続審査1名）

本会議場での審議結果

不採択（反対する議員 14名 賛成する議員 1名）

【委員会での不採択の主な理由】

当該陳情の趣旨は、発地に計画されている太陽光発電施設の建設を白紙に戻してほしいというものだが、当該施設に係る設置計画の概要を見る限り、設置計画の推進過程（土地利用行為の協議推進過程）に特に行政手続き上の問題は見られないので、自然保護審議会の答申を尊重すべきである。



メガソーラー建設予定地を視察

寄附金

大切に使わせていただきます。

◎軽井沢病院へ

通院されていた方から2000万円の寄付がありました。

一般質問全項目掲載

「軽井沢高校前」新駅のその後は



佐藤敏明

町　長

これからも検討していく

問　公共交通計画の取り組みで、新たな交通システムの検討をした現在の実施状況は。

生活環境課長　町内循環バス北回り線と、バス路線廃止地区の峠町と茂沢でタクシー利用システム事業を開始している。

問　しなの鉄道「軽井沢高校前」駅実施に向けての研究成果は。

企画課長　しなの鉄道と協議を重ねているが新駅設置費用で約7億7500万円の工事費の見積りである。町が相当な費用を負担することになるので、駅新設は厳しい。

問　軽井沢高校存続にもかかわるので、新駅をつくるべきでは。

町長　高校再編の心配もあるが、アクセスがよくなれば高校が残るという保証もない。魅力ある高校にしていかなければと思っている。

グランドデザインの中に、※LRTを導入可能であれば高校の前に駅を考えており、これからも検討していく。





平原駅より広いと思うが

※**LRT**とは、Light Rail Transit の略で、低床式車両（LRV）の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた次世代の交通システムのことです。

スポーツ団体一本化のその後

問　町体育協会を振興公社に吸収し、名称を一般社団法人軽井沢町体育協会にできないか。

総務課長　町から働きかけや主導し協議を行い、体育協会を解散しても良いとなれば、振興公社と合同でと提案できるが、一方的に体育協会を解散するよう話しかけはできない。

問　スポーツ施設を有効利用するには、振興公社が名前を変えてできるのが理想と思うが。

総務課長　町体育協会の意見も聞いた中で、振興公社との話し合いを続けていく。



一般質問全項目掲載

脊柱側弯症（せきちゅうそくわんしょう）の早期発見を

教育次長

学校や医師会の意見を重視

川島　さゆり

問　学校検診状況は、医師会へ学校医の検査方法統一の働きかけはしているか。

教育次長　毎年、小中学校の健康診断で内科検診を実施しているが事例はない。医師会に働きかけはしている。

問　家族へのスクリーニング調査表記入は可能か。

教育次長　保健調査表に気になる点を記入、医師の判断を仰いでいる。検査項目は現場と検討する。

問　モアレ※検査の導入は。

教育次長　慎重な検討が必要。

※モアレ検査
格子を通した光を背中に当てそのしま模様の左右非対称から脊柱の変形を検査するもの。

認知症対策は大丈夫か

問　認知症患者の把握と認知症の独居高齢者支援は。

保健福祉課長　要介護・要支援のうち、医師が認知症と診断した方は4月1日現在632人。民生委員等見守り体制を整えている。

問　認知症徘徊者の情報ネットワークや事前登録、またネームプレート着用とか声かけ模擬訓練の実施は。

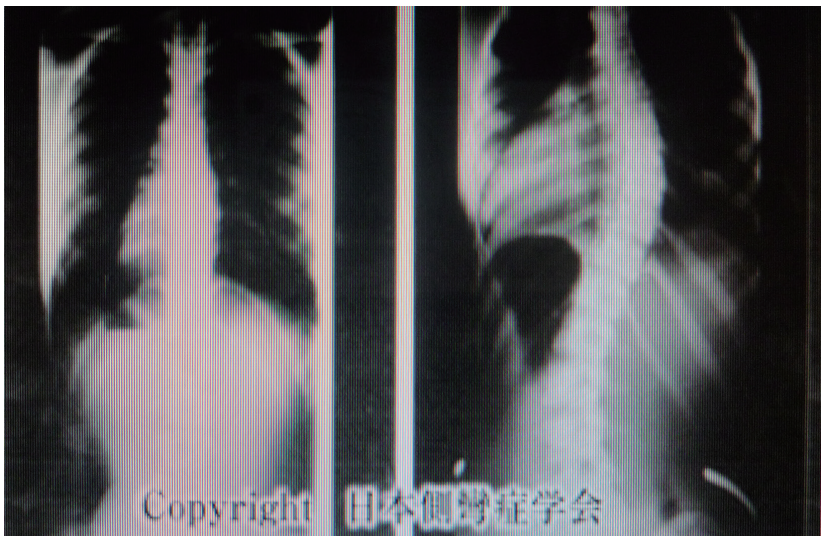
保健福祉課長　見守りネットワークや避難行動要支援者台帳で関係機関と連携している。
　事前登録はしていないが民生委員との連携、メール配信で徘徊者放送実施。ステッカーなど今後研究していく。模擬訓練は認知症サポーター講座で取り入れていく。

問　キッズサポーターや企業の認知症サポーターの育成は。

保健福祉課長　キッズサポーターは今後取り組んでいく。企業にも周知していく。

問　認知症チェックサイトを。

保健福祉課長　12月6日、群馬県もの忘れ検診認知症チェックリストをホームページに載せた。



早期発見が大事！

（日本側彎症学会資料提供）

一般質問全項目掲載

交流を促す 道路網の整備は



土屋春男

これからの道づくりを問う

問 生活環境道路の整備計画は具体的にあるか。

建設課長 実施計画を元に、町道420kmの破損状況を正確に把握するため、平成25年路面状況調査を実施。この調査をもとに、毎年計画的に補修工事を行う。

借宿バイパス線は平成30年完成予定、新幹線側道はまだ実施計画にのせられる状況にない。

問 幹線道路（国道・県道）の整備促進はどのような取り組みをしているか。

建設課長 長野国道事務所、長野県道路管理課、佐久建設事務所、ネクスコ東日本佐久管理事務所と休日における交通状況に関する連絡会の中で検証している。県道下仁田軽井沢線の南軽井沢交差点から南へ2車線から4車線に拡幅改良を実施している。

問 借宿バイパスと旧18号線との接続はどのような形になるか。

建設課長 国の管理の道路で、町で道路計画を作成することはできないが、接続については長野国道事務所と協議を進めていく考えである。

問 今後、環状交差点（ラウンドアバウト）の導入計画はあるか。

建設課長 借宿バイパス東側のランプ部にラウンドアバウトを設置、峰の茶屋の交差点については県に要望、検討対象になっている。また、中軽井沢駅前18号線の交差点についても佐久建設事務所に提案してみたい。

問 国道18号軽井沢バイパスの片側2車線化について着手してはどうか。

建設課長 借宿の18号との合流からサンラインの間の渋滞の解消と一部狭い歩道の改修を要望していく。



どこにつながる借宿バイパス



一般質問全項目掲載

製造業支援で通年雇用の場確保を

町　長

観光だけでは危険。工房的なものを支援する

土　屋　　浄

藤巻町政2期目の政策を問う

問　町の産業は第三次産業に偏っている。雇用も夏場に集中し、冬はないというバランスの悪さがある。これを町の宿命と放っておくのではなく、町として第二次産業、とりわけ製造業の振興に努めることが課題ではないか。馬取に計画されている鞄工房のようなものができていくなら通年雇用の場を確保する展望が開けると思うが。

町長　考えは同じである。観光産業は自然災害や事件が起きると甚大なマイナスとなる。モデルと考える事例の一つはスイスで、平地が少なく耕作に適さないため精密機械工業、金融業など観光産業だけに頼らない付加価値の高い産業立地を図っている。もう一つはイタリアの小都市の工房における靴、弦楽器などの有名なブランドのものづくりだ。工業団地的なものでなく、工房的なものやI T産業などの研究施設の支援をしていきたい。

若者が働きがいを実感できるまちづくりを

問　若者が働きがい、生きがいを実感できるまちづくりでは、隠岐の島の海士（あま）町の成功例が注目されている。空き家利用の町立塾で親身な進路相談にのることからはじまった人づくりの結果、Iターンで人口が増え、島は活気に満ちているが。

町長　生きがいややりがいは、外部から与えられるものではなく、若者が自分自身で感じ取り、見出すものであるので、見出せるような環境づくり、また、支援を行っていきたいと考えている。

午後診療、往診、在宅ホスピスで病院充実を

問　平日の午後も日曜日も診療しないと近隣の病院に患者が行ってしまう。また往診などの在宅医療、在宅ホスピス専門の医師をおく等の考えはあるか。

病院事務長　医師確保ができたら休日診療も可能になると考える。平日の午後診療は一部行っているが今後、午後外来ができるよう、体制を整えていく。



（島根県隠岐郡海士町のホームページより）

空き家利用の町立塾で学習する子ども達
～町おこしは、ここから始まった～

一般質問全項目掲載

我が町の観光名所の整備を



荻原宗夫

観光経済課長

大切な名所なので保全に努める

雲場池の湖底をきれいに

問　3年前に雲場池が異臭を放っているが早急に対応してほしいと申し出たところ、池の底に溜まっているヘドロを取り除く工事をするのでしばらく待ってほしいとの答えであったが。

観光経済課長　400kgのバイオコロニー薬剤を散布して、池の浄化をしている。工事には、水中ロボット工法や、特殊ポンプを使う工法など、研究している。いずれの工法も莫大な費用を要することから、現状の薬剤散布を考えている。



とりもどせるか　この美しさ

問　薬剤をまいて効果があったと言っているがいつからまいていたのか。

観光経済課長　10年前から散布している。

問　近くのレストランのオーナーやお客様から聞いて、私が申し出たのが3年前であるが。

観光経済課長　薬剤散布により手の届かない深さまでヘドロは減ってきていると認識している。先ほどの工法の他に金沢の兼六園でしゅんせつ工事をしているので、その工法等を合わせて研究していきたい。

白糸の滝にゴミが目立つが

問　白糸の滝の上段にごみが目立つが調査してはと感じる。

　さらに、滝のいわれを書いた看板があるが、訪れる人の半数以上が見ていない。4ケ国語で書いてあるが、見ていただけないのは残念に思うが。

観光経済課長　可及的速やかに調査を実施し、対応したい。

　看板についても、読んでいただけないなら意味が無いので場所の移設も検討する。



一般質問全項目掲載

チャーター・スクールを参考に特色ある教育活動の拡大を

横須賀　桃子

教育長

軽井沢版信州型コミュニティースクールの研究中である

問　チャーター・スクールとは、県や国の制度に縛られずに自由な発想や考えの元に教育方針・方法による教育の提供を行う公立学校のことだが、総合学習の時間は当町で唯一町独自に考えられる指導の自由を保障された教科なので、英語活動だけではなく軽井沢病院の医師や町の消防士や警察官を含めた地域住民を巻き込んでの学習を実施しては。

教育長　県では学校と地域住民の協働による地域に開かれた信頼される学校づくりを進めるために信州型コミュニティースクールの実施を29年度から考えているが、当町では特色ある学校づくりとして、学校評議員制度を活用した軽井沢版信州型コミュニティースクールを28年度開設に向け、教育委員会事務局と各学校が連携し研究を進めている。

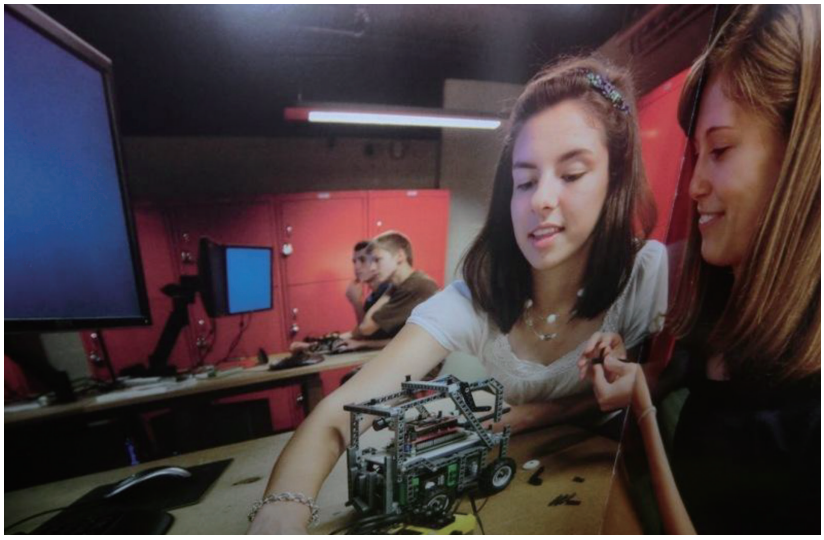
問　軽井沢版信州型コミュニティースクールの組織メンバーの構成は。また、その中には地域住民も含まれているのか。

教育長　組織メンバーは※アイザックとの連携も含めた中で、有識者の方々にボランティアとして携わってもらっているが、今後、地域住民のボランティアも検討したいと思う。

問　町長は当町の子ども達に、どのような力をつけて欲しいと考えているか。

町長　それぞれが助け合うという気持ちを養い、少しぐらいのことではくじけない強い気持ちを持った子どもたちに育てていくことが大切だと思っている。

※**アイザック（ISAK）**とは、「インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢」の略称で、大日向地籍に設立された日本で初めての全寮制国際高等学校です。



楽しく発想力を育む授業

一般質問全項目掲載

伐採に当たっての生態系調査は



大浦洋介

建設課長

県の事業であり、町は行うことができない

湯川地区の樹木の伐採工事

問　湯川大橋の河畔で大掛かりな樹木の伐採が行われたが、面積は。

建設課長　県への問い合わせでは5000㎡と聞いている。

問　県は「町にはあそこに大きな雪置き場を作る予定があったようです」と言っているが。

建設課長　県から町に「町の雪捨て場を利用させて下さい」という話の中で、県でもそれなりに準備して下さいとお願いした経緯がある。

問　伐採に当たって、動植物の生態系調査は行なったか。

建設課長　県の事業であり、町は行うことができない。

農協通り、中部小通りの「渋滞緩和策」

問　農協通りと中部小通りは、夏季や連休に大型スーパーの利用客で大渋滞が発生する。緩和する手立ては何もないか。

生活環境課長　信号機の設定変更、道路の拡幅など検討したが、現状では渋滞緩和は困難である。

問　中部小通りの渋滞は国道18号に右折車が進入しづらいのが原因である。中保育園方面からの一方通行を逆にして緩和を図れないか。

生活環境課長　警察に確認したところ、現状では変更や見直しの予定はない。町でも困難と考えている。



伐採された河川敷

国道146号線の改造工事と空き店舗解消策

問　町の将来像では、国際会議場などの主要施設が中軽ではなくて新軽等の見栄えのいい所に計画されているが。

企画課長　中軽地区には、すでに行政施設は整っていると思う。

問　中軽商店街では、1月から国道146号線の改造工事が始まる。これを機会に、商業施設の化粧直しを促すための資金の補助制度が必要ではないか。

観光経済課長　空き店舗なども含めた新たなリフォーム補助事業の研究を始めている。

平成27年

第１回軽井沢町議会定例会を開催

第１回　１月９日～４月 29 日までの会期 111 日間

第１回議会定例会（１月第１回会議）が１月９日に町長より招集され、会期の決定と議案２件を原案どおり可決しました。

１月会議（概要）

- 軽井沢町の福祉に関する条例の一部改正について
- 平成 25 年度社会資本整備総合交付金事業軽井沢町公共下水道軽井沢浄化管理センター長寿命化工事委託に関する変更協定の締結について

平成 26 年の通年議会本会議・委員会等の開催日数

平成 26 年の議会は、第１回軽井沢町議会定例会１月 10 日～ 12 月 19 日までの 344 日間開催されました。本会議等の開催日数は、下記のとおりとなります。

名　称	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	合計
本　会　議	1		5	2		5	1		5		1	5	25
議会運営委員会	1	2	1	2	1	1	1	1	1		3	1	15
常任委員会			3	3		6	2		5	4	4	8	35
特別委員会	2		5			2			6			1	16
全員協議会	1	1	2	2	1	1	2		1	1	2	1	15
議員研修	3				3	1	2	1		2	2		14
計	8	3	16	9	5	16	8	2	18	7	12	16	120

《平成 26 年　視察受入状況》

《他市町村等の議会より議会側への視察受入 13 回》		
１月 29 日㈬	栃木県那須町議会（議会広報編集委員）	議会広報誌の編集発行について
２月 13 日㈭	埼玉県深谷市議会（ふかや市議会だより編集委員会）	議会広報誌の編集・発行状況について
５月　８日㈭	静岡県清水町議会（議会改革特別委員会）	議会改革について（議会基本条例・会派・反問権・議決事項の拡大・通年議会等）
７月　７日㈪	岩手県矢巾町議会（議会改革特別委員会）	議会改革について
７月　８日㈫	山梨県北杜市議会（議会広報編集委員会）	編集全般について
７月　８日㈫	愛知県阿久比町議会（議会運営委員会）	議会改革の取り組みについて
７月 28 日㈪	宮城県登米市議会へ講師派遣	通年議会の導入と議会改革について
８月 21 日㈭	埼玉県所沢市議会（公明党）	通年議会制について
８月 27 日㈬	三重県議会（新政みえ）（民主党）	議会改革の取り組みについて
10 月 22 日㈬	栃木県芳賀町議会（総務常任委員会）	災害時における議会の対応について
10 月 27 日㈪	熊本県宇城市議会（議会運営委員会）	災害時行動マニュアルについて
10 月 28 日㈫	愛知県東郷町議会（議会活性化特別委員会）	通年議会について・議会改革について
11 月　６日㈭	山形県置賜地方町村議会事務局職員視察研修	議会改革・活性化の取り組みについて

《他市町村等の議会より行政側への視察受入 11 回》		
４月 22 日㈫	静岡県長泉町議会（建設文教委員会）	六本辻　ラウンドアバウトの導入について
５月　７日㈬	神奈川県箱根町議会（会派：至誠会）	地方交付税交付金不交付自治体の経営・オリンピックへ向けての観光戦略
５月 26 日㈪	新潟県胎内市議会（まちづくり常任委員会）	中軽井沢駅橋上駅舎と周辺整備について
７月 14 日㈪	宮城県仙台市議員（自由民主党）	景観保全のための建築規制について
８月 27 日㈬	三重県議会（新政みえ）（民主党）	観光への取り組みG８サミット
９月 30 日㈫	石川県能美市議員	長野新幹線開業前後の取り組みについて
10 月　２日㈭	福岡県八女市議会（厚生常任委員会）	木もれ陽の里の取り組みについて
10 月 16 日㈭	栃木県野木町議会（文教民生常任委員会）	男女共同参画の取り組みについて
10 月 16 日㈭	東京都中野区議会（子ども文教委員会）	交流拠点としての図書館運営について
11 月 11 日㈫	広島県福山市議員	風越公園総合体育館について
11 月 17 日㈪	富山県小矢部市議会（駅周辺整備特別委員会）	駅舎と地域交流施設・図書館の合築について他

中学在校生へ配慮を！

総務常任委員会

委員会での主な審査内容（質疑）

職員定数条例の一部改正

市村守　町長部局の、その他の職員から保育所・児童館の職員に定数を3名移行することで、住民サービスや事務に支障をきたさないか。

総務課長　必要により臨時職員で対応する。

都市公園条例の一部改正

荻原宗夫　改正内容を各クラブ等と協議したか。

建設課長　料金改定があることは話してあるが、料金については行っていない。

都市施設さわやかハットに関する条例の一部改正

荻原宗夫　朝6時から開館するが、待合室の暖房体制は。

建設課長　指定管理者と協議、検討する。

町長　28年度、自由通路にドアをつけるので、かなり寒さを防げる。状況を見ながら検討する。



待合室に改修された軽井沢駅会議室

新幹線跨線橋耐震補強工事委託に関する変更協定の締結

荻原宗夫　減額の主な理由は。

建設課長　足場の材質変更。電柱の移設不要等により工期が3カ月短縮されたことによる。

その他（委員から）

中学校の体育館の暖房の音

内堀次雄　暖房の音や寒さについて早急な対応は。

町長　新しい校舎を利用できない生徒への配慮の気持ちとして検討したい。

中学校の部活等への照明の設置

内堀次雄　部活や駐車場への照明の設置はどのようになっているか。

教育次長　照明については、通路を照らす形で設置が済んでいる。



中学生と意見交換

当委員会では、規約の変更1件、条例の一部改正3件、変更協定の締結1件、町道の廃止1件の計6件について審査を行い、いずれの議案も原案可決との報告を致しました。

また、請願1件を採択し関係機関へ意見書を提出しました。

「観光振興センター」オープンへ！

社会常任委員会

委員会での主な審査内容（質疑）

川島さゆり　いよいよ4月1日から観光振興センターが始動することになったが、センターに愛称は付けられるか。

観光経済課長　愛称を付けることは可能である。





改装が進む観光振興センター

指定介護予防支援等の基準を定める条例

神山卓也　指定介護予防支援事業の申請先、及び監督・指示はどこが行うか。

保健福祉課長　申請先は県で、監督・指示は町でできる。

子育て支援センター

川島さゆり　移設される子育て支援センターに相談室を設置して有資格者を置くということだが、どのような有資格者を置くか。

住民課長　保育士と助産師は確保することにしている。保健師については保健福祉課と連携していく。

神山卓也　産科医療制度の運営組織はどこか。

住民課長　公益財団法人の日本医療機能評価機構である。

佐藤幹夫　出産育児一時金の加算額を、現行の3万円からどうして1万6000円に減額するのか。

副町長　掛け金が現行の3万円から1万6000円に引き下げられるからで、その分出産育児一時金を増額している。全体としては何ら変わらない。

その他（委員から）

トイレの案内標識

土屋正治　トイレ（特に旧軽井沢地区のトイレ）の案内標識を付けたらどうか。

観光経済課長　取り付ける場所等の問題もあるので、銀座通り商店会と協議して検討する。

当委員会では、条例の制定7件、条例の改正2件の計9件について審査を行い、いずれの議案も原案可決との報告を致しました。

また、陳情4件についても審査を行い、いずれも不採択との報告を致しました。

まちづくりを語る会より

今回は11月5日矢ヶ崎公園管理棟、6日借宿公民館、7日中軽井沢区民会館、3会場で行われた。

校庭の芝生化、その後は

問 保育園、学校等の庭の芝生化について、どのような意見があるか。検証はしているか。

教育次長 傷みに苦慮しているが冬も使え、怪我が少ない等の良い意見がある。

住民課長 保護者から特に意見ない。職員の意見は、芝生の上で寝転んで遊ぶなど心身成長によいと報告を受けている。

問 中部小のグラウンドに鉄杭がある。来年は使えるようにしてほしい。

教育次長 芝のメンテナンスのため、一時的なものである。

各施設の整備を

問 矢ヶ崎公園の木の根や裏小路など周辺整備を。

建設課長 木のチップを入れるなど、全体的に見て検討する。

問 西部小学校に洋式便器を増やして欲しい。

企画課長 29年度に対応する。

問 浅間山のシェルターは大丈夫か。

消防課長 小諸市が設置している。軽井沢側は4㎞以内立ち入り禁止となっているが、安全対策を考える。

問 ユースホステルが廃屋化し景観上よくない。処分して欲しい。

観光経済課長 県から譲与されたもので平成37年9月6日までは処分できない。

問 堀辰雄の資料購入100万円の内容は。鑑定した古書店はどこの業者か。

教育次長 遺族が所蔵する資料で、東京の業者である。





根が張り出した矢ヶ崎公園の地表

こうやったらどうか



屋外広告の規制は

問　屋外広告物の面積は、建物全対の面積の3分の1以内と答えているが、正面面積の3分の1ではないか。

観光経済課長　そのとおりである。

問　町内でのぼり旗等の撤去を指導しているということだが、どの地域で指導したか。

生活環境課長　軽井沢駅から銀座通りまでを対象に行った。

「議会とまちづくりを語り会」で出された意見の中で、社会常任委員会は、屋外広告物の規制について委員会において調査を行っていくこととなり、第1回目を26年12月24日に開催した。

委員会として屋外広告物の規制の見直しの素案を作成することとなった。

主な見直し事項

1．のぼり旗

2．広告の大きさ

今後この2点について、委員会として審査し具体的な見直し案を作成する。



景観対策は

タクシーのマナー向上を

問　タクシー運転手のマナーに関する研修会を開くとしていたが、開催したのか。

観光経済課長　まだ開催していない。1月23日にくつかけテラスの多目的室で開催する予定である。

問　研修会とは別に、利用者からタクシー会社に出ているクレームを直接伝えてはどうか。

観光経済課長　タクシー会社自身にマナーを高めて貰う機運となるかも知れない。

感謝の気持ちを思い出に

中学生との意見交換



総務常任委員会では、中学2年生（代表15名）と平成26年10月20日に意見交換をしました。要望については現地視察をして答えています。なお、生徒の意見を抜粋して載せました。

柳沢君　あと、一年で校舎が取り壊されるので掃除に力を入れたい。

佐藤君　取り壊される学校を綺麗にしたい。いじめは犯罪だ、傍観者には罰を。

森さん　取り壊される学校が思い出に残るようにしたい。

荒木君　学校への感謝の気持ち大切にし、掃除や校風を今以上にしっかりさせる。

大槌町の支援も引き続きやる。

山浦君　自分達が最後の卒業生となる。軽中の校舎で卒業して行った先輩と一緒に思い出を残したい。文化祭などが一番と思うので、そのときは町内放送で宣伝をお願いしたい。

中嶋さん　学校が古いことや壊れやすいことは気にせずに、一つ一つの事に集中して全力投球したい。

掃除は一生懸命するが、設備等の修理は私達には出来ないのでお願いしたい。

藤巻君　3小学校と中学で行っている資源回収をし、今後も大槌町への支援は続けたい。大槌中の生徒に文化祭で震災当時の話を聞くが、2、3日軽井沢で過ごすことができればと考える。

佐藤君　挨拶と運動が盛んな学校に、そうなれば、皆が明るくなる。

渡辺さん　明るいまとまりのある中学に、そのために挨拶運動をしっかりとしたい。

番場君　新しい校舎に入れないという後ろ向きな考え方でなく、最後の旧校舎生としての功績を残すという前向きな考えで、全校生徒が出演した、旧校舎の歴史をドラマ風に仕上げた、記念映画を作成したい。

文化祭では模擬店をだしたり、特別ゲストを招いて、チャリティーコンサートを開催し大々的に行いたい。

橋本君　今の校舎は僕たちが卒業と同時に壊される。校舎に感謝し全校生徒が、部門清掃の徹底や校舎を大切に使う意識が必要と思う。

資源回収に力をいれ、大槌町の支援もしていきたい。

大坪さん　学年やクラス単位の活動が多いが、クラスや学年に関係なく取り組める学校にしたい。

今井君　学校の化粧直しをしてあげたい。校舎の清掃、ペンキの塗り直し、床のパネルの色の塗り直しなど、予算と人手が要ります。卒業生を招いたり、資金を集めたり大変と思うがやってみたい。

石井君　お世話になった学校に感謝し、全校生徒が充実した学校にするために、人間関係を大切にしていきたい。

荻原さん　心からありがとうと言える学校にしたい。月に一度は40分くらいの清掃の時間をとり、隅々まで掃除をしてあげたい。

広報広聴常任委員会 視察報告

親しまれる議会だよりをめざして

1 視察日程
平成26年
10月28日㈫～29日㈬

2 視察先及び目的
(1)山形県　庄内町
(2)山形県　川西町
①全国トップレベルの議会広報紙の編集内容
②どうしたら町民に親しんでもらえる議会広報紙になるのか

山形県 庄内町

委員会全員が小学校5年生でもわかる議会紙作りをめざしている。
研修で学んだ事を活かし、新人議員は必ず委員会に所属させる。全議員の理解のもと委員会の権限とルール作りが強化されている。
町民目線で「広報モニター」を置いており、当町でも参考にできる点である。「視察調査」「町へ提言」を企画ページで掲載、町の対応を三段階評価している。議会でどのようなやり取りがあったのか、経過をタイトルでしっかり見せていくことが大事である。小学生の傍聴、要約筆記、声の広報など努力している。

山形県 川西町

議会中にも編集会議を行っており、広報モニターが町民目線でより良い議会だよりにと努力している点は当町でも参考にするべきである。



トップレベルの編集を学ぶ

視察報告

子育てしやすい町をもとめて

1 視察日程
平成26年
10月14日㈫～15日㈬

2 視察先及び目的
(1)宮城県　利府町
①子育て支援
(2)埼玉県　三芳町
①子育て支援センターの取り組み
②就学前の心身の発達障がい児療育の取り組み（みどり学園）
③ファミリーサポートセンターの取り組み
④児童館の取り組み

3 視察参加者
横須賀　桃子
川島　さゆり
篠原　公子

子育て支援課の取り組み　宮城県 利府町

子育て支援センターが民間運営されており、民間だからこその自由な発想と想像豊かなアイディアを活かして多くのイベントを実施していました。子育て支援に力を入れた結果、出生率が上がり子育て世代の転入の増加にもつながったことは当町でも参考にするべきである。



こども支援課の取り組み　埼玉県 三芳町

面積的には小さい町だが、周りに大きな市があり、病児病後児保育、緊急サポート、ファミリーサポートなど広域の連携が良くなされている。
特に発達障がいや遅れのあるお子さんの療育が目的の「みどり学園」の取り組みが素晴らしく、乳幼児の早期に障がいを見つけ医療機関と連携しながら、言語聴覚士が月に何回も来園する等言葉の訓練をしている。学園の中で手厚くしっかり社会に順応させようと努力されている姿に感動した。



西保育園をたずねて
地域で育つ子どもをめざして!!

追分馬子唄 うたえるよ!



西保育園は、年長きりん組34人、年中うさぎ組37人、年少りす組31人、未満ひよこ1組（2歳児）24人、ひよこ2組（1歳児）17人、ひよこ3組（0歳児）6人の合計149人の園児です。



きりん組さんは、敬老園やデイサービスで、子ども会で発表した「かぐや姫」を見ていただきました。劇中でうたった「追分馬子唄」は、地元郵便局長から教えていただきました。

お餅つき、よいしょ!よいしょ!楽しいな!!



地域との交流をとても大事にしています!

しめ縄作りは地域の方に教えていただき三年目です。



おじいちゃん、ハーモニカ上手だね!



地域力を活かした素晴らしい取り組みをしている西保育園、いい木の匂いの中みんなのびのび活発に遊んでいました。これも、園長をはじめ、先生方のあたたかな関わりのおかげです。

小学校、児童館が隣接した特色ある園ですので、これからの成長が楽しみです。　**（取材／川島さゆり）**

編集後記

あけましておめでとうございます。

近年、想定外・異常気象という言葉を耳にする。その言葉以上に地球規模で異変が起きているように思う。

県内でも、2月の大雪、御嶽山の噴火、白馬地方の地震等、多くの災害が発生しているので、常に災害に備える必要を感じる。

町では、2月の大雪を教訓に各家庭で3日から一週間程度の食糧や燃料の備蓄をお願いしたいと言っている。その通りである。特に人里離れてお住まいの方は実行してほしいと思う。

冬の早い時期からこんなに雪が降るのも本当に珍しいことである。しかし、町の対応は、かつてないほど敏速であった。　（荻原）

議長　篠原公子
委員長　荻原宗夫
副委員長　土屋好生
委員　横須賀桃子
委員　川島さゆり
委員　佐藤敏明
委員　大林義博

－発行－
平成27年1月20日
長野県北佐久郡軽井沢町
軽井沢町議会
〒389-0192
☎0267（45）8910
－編集－
広報広聴常任委員会
－印刷－
有限会社東城印刷
☎0267（45）1710